

社協だより

2019.3.28

88号

雫石町社会福祉協議会

～誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり～

雫石町社会福祉大会

～誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり～



も く じ

- ◆第42回雫石町社会福祉大会 2～3 P
- ◆平成30年度歳末助け合い募金運動
結果報告..... 4～5 P
- ◆平成31年度雫石町社会福祉協議会会費
お知らせ..... 5 P
- ◆生活支援コーディネーター 6 P
- ◆西山保育園だよりVOL.25 7 P
- ◆まちの福祉..... 8～9 P
- ◆お知らせ..... 10 P

第42回 雫石町社会福祉大会開催

1月14日(月)、第42回雫石町社会福祉大会が開催されました。写真は式典の様子です。記念講演等の詳しい内容については2・3 Pをご覧ください。

第42回雫石町社会福祉大会 『誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり』

平成31年1月14日(月)雫石町中央公民館野菊ホールにおいて、『第42回雫石町社会福祉大会』が開催されました。当日は、約280名の来賓や地域住民の皆さま方に来場いただき、大会テーマである『誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり』について地域で暮らす全ての人々が生きがいを共に創り、支え高め合うことができる「地域共生社会」の実現を目指すため、地域の見守りや支え合いの大切さを再確認しました。

記念講演
 『なぜ、アニメ『サザエさん』は長く続いているのか？』
 ～旧き良き時代から見た地域共生社会とは～
 講師・石巻市社会福祉協議会地域福祉課
 地域福祉課長補佐 阿部 由紀氏

◆日本男児たるもの
 私は幼い頃から祖母に津波の恐ろしさを聞かされており、その恐ろしさを知っている。津波が来ない場所へ家を建てました。東日本大震災を迎えた際、私は奥さんから初めて褒められた気がしました。家族を守れないと、支援者にはなれません。自分が被災してしまえば、心の引掛かりを持ったまま活動することになります。私は、家も家族も無事で、心の引掛かりを持つことなく安心して支援することができました。『日本男児たる者女子を守れ。』と大学の講演会で言ったことがあります。『守れなければ一緒に死ねばいい。』現在の50代の人々がまだ心に持っている部分なのではないかと思っています。船の事故で父親が亡くなった後、母親が一人で頑張っている姿を見て、お嫁さんは守らなければいけない存在だと思いました。何事もまず家族を大事にしなければなりません。

◆腹をくくった「災害VC」
 石巻市協では、震災が起きる前から、市役所とも相談をして、震災が起きた際はどうか対応するのか、市民フォーラム等を開催していました。震災が起きた後、区長さんや民生委員さん方から「あなたたちが話していたのはこれだったのか。」と言っていた。今までやってきたことが報われた気がしました。この言葉や関係性はすべてお金では買えないものです。
 災害VCには、全国各地から多くの支援の手が差し伸べられましたが、当初は、田舎者のレッテルを貼られていた感じがして、葛藤したこともありましたがよく考えると、この地域は自分の地元なんだと気づきます。

◆「サザエさん」は、なぜ続く？
 暮らしの中で、家族や近所の話題を中心にしてのご長寿番組です。人に関心がなくなってきた世の中なのに、なぜ放送が続いているのでしょうか？サザエさんのすごい所は、親戚が来てても誰が来てても嫌な顔一つせず笑顔で迎えてくれます。さらに、人を巻き込んでいく力があるのです。

現在、盛んに「見守り」「支え合い」という言葉が使われていますね。でも、旧き良き時代には、人は、暮らしの中で、見守り・支え合っていました。それが当たり前だったからこそ、表現するための特別な用語（見守り活動・支え合い活動）は必要なかったのです。今は、「つながる」を意識しないと「気になる」は生まれません。地域福祉の調整役が「気になり合う」場面づくりや「支え合い」「見守り」を作る時代です。「サザエさん」は、今の地域福祉に必要なことを警鐘してくれているのかもしれない。そして、今の時代だからこそ地域との繋がりが、地域づくりが大事とも捉えることができます。無理をしない地域づくりを実践している「サザエさん」だからこそ、長く愛されるご長寿番組となっているのかもしれません。

◆地域共生社会の実現：
 国の事情と地域事情はあまり関係なく、法や制度となり変化しています。このことから、地域共生社会の実現に向け、最終的に迫り着こうとするゴール（地域で暮らす

人々が挨拶をかわせる地域づくり）を見据え、できる範囲での通過点設定を地域ごとに行う必要があります。
 また、社会福祉協議会が、地域福祉の推進が使命なのであれば、その推進のためのプロ集団として、職員の人材育成を計画的に行うとともに、チームとしての組織運営ができるよう、内部での共通意識を確立することが求められます。さらには、しっかりとした根拠を持って活動し、結果を想定しながら仕事をしなければなりません。基礎となる現在の因果関係や因縁をしっかりと理解することから始める。

◆自分の人生のために
 今から100年後や200年後に生まれ、暮らしていくであろう後輩達に、どんな生活を送ってもらいたいの？今の活動は、今の仕組みは、未来の生活にどのような影響力を与えられるのか。一度しかない自分の人生のために、生きていく時間の使い方として、次へのバトンをどのようにつなぐのかは、今の私達にしかできないことです。

人生は一度きりです。私も人生後半戦に入っていますが、一花咲かせて死にたいと思っています。そうでなければ、せっかく生きてきた意味がありません。私は意味を作ってきた人です。あの人はあれを頑張ったよねと言われるような人になって、箱（棺桶）の中に入っていきたいと思っています。「よく頑張った。いい人生だったよあんな。」と自分自身を褒めてから死んでいきたいのです。死ぬまでずっと何かをやっている、忙しくガチャガチャと残りの人生を謳歌したいと思っています。私の将来の野望は、「石巻市民生委員児童委員」と「地域の町内会役員」になって、最終的には会長まで上り詰めたいと思います。ご清聴ありがとうございました。



今回の社会福祉大会終盤には、「地域の支え合い、助け合いの大切さを確認し、誰もが住み慣れたこの雫石町で暮らせる地域福祉のまちづくりの実現に向け努力することを誓う」、大会宣言が朗読されました。
 本大会終了後に、町のさらなる福祉発展を願い、関係各所の連携を深めることを目的に新年交賀会を開催しました。詳しくは、8Pの記事をご覧ください。

～受賞おめでとうございます～ 雫石町社会福祉大会長表彰

社会福祉団体・施設役職員永年勤続功労者 6名
 15年以上の長きにわたり、社会福祉団体・社会福祉施設の職員として尽力した功績。
 ●特別養護老人ホーム日赤鸞鳴荘
 林尻はま子氏

社会福祉事業功労者 (民生委員・児童委員 5名)
 13年の長きにわたり雫石町民生委員児童委員として地域福祉の増進に努めた功績。
 瀧沢 清氏 高橋美代子氏 晴山美代子氏
 千葉喜久馬氏 藤本 達也氏

在宅介護功労者 (褒賞) 3名
 多年にわたり、献身的な介護を行い、在宅福祉の大切さを身をもって示した功績。
 杉澤みよ子氏 根沢 治氏 瀧沢 洋子氏

社会福祉法人雫石町社会福祉協議会 放課後児童支援員
 障害者支援施設つづいすの郷
 斎田かよ子氏 浅部 恵子氏 赤坂 絹子氏
 佐々木浩子氏 中岩持 恵氏

歳末助け合い大口募金寄付企業・団体（敬称略）

【50,000円】 青湖苑カルチャー発表会 ヒラコ・プランニング	盛岡セイコー工業（株） 中村建材（株） （株）しずくいし （株）東北工商 （株）振興設備設計 北栄調査設計（株） （株）吉田測量設計 （株）ナカノアイシスエム	（有）アース （株）ケーエヌ工業 （有）吉田塗装工業 （有）丸水工業 （株）岩手ナブコ 雫石プリンスホテル （匿名希望）
【30,000円】 （株）丸恵電業 雫石町歯科医師会 社団法人康生会 鷺宿温泉病院	【8,893円】 雫石町立御所小学校児童会	【3,000円】 （株）アオバヤダスキン本宮支店 （株）白ゆり （有）オプト電通 伊藤建設（株） 雫石タクシー（有） （有）なかゆ食品 長栄館 ホテル森の風鳴宿 （有）瀧沢重機建設 オリジナル設計（株）
【20,000円】 在京雫石町友会 すてきな作業所チャリティーバザー実行委員会	【6,494円】 まいど ども店	【2,617円】 雫石砂利工業（株）
【17,000円】 雫石町ゲートボール協会	【5,000円】 雫石町婦人会役員一同 岩手建工（株） （株）ダイトク （有）佐々木章設計事務所 （株）渡辺設計事務所 （株）菊池工業 （株）NIPPO 仙建工業（株） 小岩井農牧（株）小岩井農場 小岩井乳業（株）小岩井工場 松ぼっくり 東北体育施設（株） 一般社団法人雫石町シルバー人材センター 休暇村岩手網張温泉 新岩手農業協同組合雫石支所 （有）西部建設工業	【2,000円】 （株）恵工業 （株）富士電業社 （株）三伸鋼機 奥アンソーカ（株）東北営業所 （株）武田菱設計 （匿名希望）
【10,000円】 （株）寿広 （株）ビルド遠藤 （株）共同地質コンパニオン （株）イクスル （株）興和電設 菱和建設（株） 沼田歯科クリニック （株）中村建設 新日本設計（株） （有）中孫商店 （株）グリーン・ベネフィット 北光コンサル（株） 旭管工（株） 岩井建設（株） 岩手大崎電気（株） 丹内建設（株）		

平成30年度歳末助け合い募金運動結果 報告

寄付金実績額 3,664,231円

（内 訳）
行政区別募金【4,135世帯】 2,173,418円
法人・大口（企業）募金【75件】 662,013円
歳末助け合いチャリティーショー益金 828,800円

配 分 額 1,845,000円

（内 訳）
歳末助け合い激励金配分金 1,845,000円
※差引残金 1,819,231円は、平成31年度の岩手県・雫石町の福祉活動資金に活用させていただきます。

平成30年度歳末助け合い募金配分額

対象者項目	雫石地区	御所地区	西山地区	御明神地区	合計	金額	配分額
在宅重度障害（児）者	30人	10人	23人	14人	77人	231,000円	@3,000
認知症老人介護世帯	0世帯	2世帯	4世帯	2世帯	8世帯	24,000円	@3,000
生活困窮世帯	60人	58人	39人	36人	193人	1,470,000円	@5,000×人数+5,000×世帯数
雫石町身体障害者福祉協会						30,000円	
精神障がい者団体						30,000円	
福祉作業所かし和の郷						30,000円	
社会福祉法人結和会						30,000円	
計	535,000	496,000	376,000	318,000	1,725,000	1,845,000円	

総額

3,664,231円

町民の皆様の心温まるご協力
本当にありがとうございました。

昨年12月1日から、全国一斉に歳末助け合い募金運動が展開され、当町におきましても、町民皆様の深いご理解とご協力のもと、たくさんの方々が募金を寄せられました。皆様よりお寄せいただいた募金は、長期間にわたり、在宅で介護を必要とされる方や生活にお困りの方々等へ、各地区民生委員・児童委員さんを通じて、12月末に激励金としてお贈り致しました。また、今回ご協力いただきました募金は、平成31年度、雫石町の福祉の発展・向上のための福祉活動資金として活用させていただきます。皆様からの善意に、深く感謝申し上げます。

誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり

平成31年度社協会費納入にご協力ください

雫石町社会福祉協議会（雫石町社協）の活動は、公的機関（県・町など）からの補助金や委託金、共同募金配分金、寄付金のほか、全世帯から納入いただく社協会費が大きな原動力となっています。

社協会費へのご協力は、福祉のまちづくり参加への一つの方法です。ボランティアや福祉活動に興味がありながら、忙しくて時間が取れないなどの理由で参加することが難しくても、会費を納めることで地域福祉活動に間接的に参加していることになります。社協会費の納入は強制ではなく任意です。地域福祉の向上を図るため、趣旨にご賛同いただき、会費の納入にご理解ご協力をいただきますようよろしくお願い致します。

皆さまからご協力いただいた会費は、事業活動によって地域に還元されております。

- 会 費 1世帯 800円（昨年度と同額）
- 依頼時期 4月下旬に行政区長様を通じて納入のご協力をお願いする予定です。
- 平成31年度社協会費利用使途

お出かけ援助サービス	525千円
地域子育て支援事業	750千円
めぐりあい事業	410千円
社会福祉大会	555千円
新年交賀会	432千円
一人暮らし高齢者の集い	479千円
福祉の職場説明会	50千円
金銭管理財産保全サービス	10千円
よろず相談所	48千円
広報活動事業	411千円
援護活動事業	30千円



平成30年度
社協会費実績
協力額 3,679,050円
(4,601世帯)

平成30年度実施事業写真
①お出かけ援助サービスの様子
②出前講座の様子

行政区募金で二千元以上の寄付者（敬称略）

【100,000円】 太田 司	土樋 博志 古館 謙護	細川 行輝 上野 眞	（株）千秋堂 田中 勝利	加藤 みよ 武藤 タキ
【50,000円】 廣養寺 平井 正道	細川 正四郎 目時 哲英	村上 直榮 谷藤 祝子	佐々木 秀子 谷地 アサ子	向井 繁 佐々木 克美
【30,000円】 永昌寺 藤本 達也	舩澤 誠一 上野 泰輝	沢藤 紀久子 階 義孝	沼田 與志晴 米澤 ヨシ子	諏訪 剛郎 野々村 恭一
【20,000円】 臨濟寺 目時 大堂	【3,000円】 山本 勝 中島 勝記	千葉 清 木村 稔	下田 裕 尾形 希代志	千葉 幸作 五日市 泰
【10,000円】 上原小児科医院 上原 充郎 篠村医院 篠村 達雅 篠村泌尿器クリニック 篠村 五雅 奥村 英則 土橋 幸男	関 敬一 澤田 実 山崎 正美 前田 正利 田中 秀雄 徳田 一士 横手 正子	石塚 真明 高橋 洋二 篠村 幸和 廣瀬 幸男 高田 克巳 根澤 早苗 中川 真理子 大村 悦正 南野 久米	横手 清美 山本 善隆 生内 恵三 長坂 一徳（長坂商店） 沼田 容子 村上 あさよ 杉村 俊雄 新里 千秋 高前田 良雄	徳田 勝美 晴山 富雄 晴山 茂夫 峰川 英利 関 秋雄 畠山 康 築場 弘貴 三浦 秀一 武田 長榮 小塚 典子
【6,378円】 太田 正男	茅橋 聰 千葉 茂	【2,650円】 原 誠	【2,055円】 星合 利見	
【6,000円】 諏訪 勉 石川 和男	西田 豊一 伊藤 秀輝 深谷 詩子 風光舎 箱崎 光良 中川 泰夫 藤村 正彦 上野 宏 中村 正	【2,000円】 袖林 孝 櫻田 章夫 藤原 恒子 栃内 巖 伊藤 正三		
【5,000円】 四ツ家 正栄 晴山 定雄 堀合 宗甫 櫻田 茂 高橋 健治 松尾 勝男 佐々木 利之				



西山保育園では、地震や火災など様々な災害を想定し、毎月避難訓練を行っています。いつ起こるかわからない様々な災害に備えて、慌てず、安全に避難できるように、子どもたちと命の守り方を身につけています。

東日本大震災から8年を迎えた3月11日には「子どもたちにこの震災があったことを伝えていく」という思いで行いました。

防災頭巾で頭を守り、避難用ズックを着用し、お友だちとお話したり、走ったりすることなく落ち着いて避難することができました。

もしもの場合に備えて、避難訓練を繰り返し行い、子どもたちの大切な命を守っていききたいと思います。



もしもの時のために・・・
～守ろういのち～



乳児のお友だちも
防災頭巾を着用しています！



おやつは非常用の
ビスケットと水。



「ちょっと固いね～」
「でも美味しい！」

生活支援コーディネーターが行く!!

～かるたでつなぐ地域の輪 in 西山学童クラブ～

平成31年1月16日に、西山学童クラブにて西山地区地域づくり会議「あいさつチーム」主催の『ヤッホーかるた大会』を開催しました。あいさつチームでは、あいさつや地域の人の交流活動を通じて西山地区を活性化させるため、住民が主体となって地域づくり活動を行っています。具体的には、住民さんに参加を募り実施した牧草ロールアートづくりで西山大運動会を盛り上げたり、地域づくり活動を紹介するあいさつ通信の発行、地域に伺いヤッホーかるたづくり・大会を行っています。



今回、小学校統合であらためて地域で交流できる機会をもうけたいとの思いから、西山学童にてヤッホーかるたづくりと、かるた大会を企画。生活支援コーディネーターがチームと学童の橋渡し役を担い、住民さんと協力して実現することができました。また今年度は、極楽野行政区の子ども会行事と野中行政区の子ども会行事にヤッホーかるたの依頼があり、チームメンバーが橋渡し役となつて行事を盛り上げました。チームのメンバーはひとりひとりが自分の住む地域のためにできることを行い、西山地区のつながりづくりに励んでいます。

支援員の声
西山学童クラブ
佐藤きよ子
学童支援員

学童でこのような活動をしたのは初めてだったので、最初はどのようなのだらうかと思いましたが、子ども達が楽しく活動していて、地域の方と交流する素敵な機会となりよかったです。

住民の声
野中行政区
武田長榮さん

学童でのヤッホーかるたでは、子ども達が学校以外のところでかるたを通してあいさつに触れ、地域と関わりを持つことができたのだと認識する機会になったかなと感じました。子ども達が大人になった時に、あいさつを通して地域とのつながりの大切さをあらためて思い出し、くれたら嬉しいですし、「ああ、あの時地域のひとこんなことしたっけな」という郷土愛につながる活動ができたかと考えています。



児童の声
西山小学校
あ：あいちゃん
ひ：ひかりさん
ひめ：ひめさん

あ：ヤッホーかるたは最初は絵を描くのが難しかったけれど、いろいろ考えて描くうちに楽しくなっていました。

ひ：普通のかるたのルール（手を挙げてかるたを取る時にヤッホーと言うこと）が違っていてもおもしろかったです。

ひめ：かるたづくりを教えてくれた人（地域づくりのメンバー）が話しかけてやさしく教えてくれました。

あ：子ども会ではおじいさんやおばあさんとみずき団子づくりをしたことはあったけれど、地域のひととかるたづくりをしたのは初めてでした。

ひ：こういう機会があれば、地域のひとと仲良くなれると思うし、あいさつしたらそのひとと友達になれると思います。

全員：またヤッホーかるた大会があったらもっとやってみたいし、自分の子ども会とかでもやってみたいです！



まちの福祉

福祉に関する情報コーナー

報

平成30年度 社会福祉法人 雲石町社会福祉協議会新年交賀会

雲石町社会福祉協議会（以下、「町社協」）では、日頃より町社協の運営や活動にご協力いただいている町内の福祉関係者・地域住民の皆様とともに、新春の慶びと雲石町の住民同士の支え合いを高める活動の充実に向けての抱負を語り合い、関係者の連携を深めることを目的に、1月14日（祝）、雲石町中央公民館大会議室にて、「平成30年度社会福祉法人雲石町社会福祉協議会新年交賀会」を開催しました。

町社協では2回目の開催となった新年交賀会には、町内より102名の方々に参加いただきました。目時会長による年頭の挨拶等の後、祝宴に移り、出席者の皆さんは終始和やかな雰囲気の中、互いに年頭の挨拶を交わし、新年の抱負を語り合っていたいただきました。ご出席いただいた方からは、「この会に参加すると多くの方々と情報交換をすることができ、貴重な機会となっている。」「町の福祉を発展させていくためには、いろいろな分野の方が協力し合って進めていく必要があるのだな。」等多くのご感想をいただきました。



町社協 目時会長の年頭の挨拶



出席いただいた方による情報交換の様子



西山保育園職員によるダンスの披露

報

福祉の職場合同説明会開催

平成30年11月4日（日）と平成31年3月3日（日）に、「福祉の職場合同説明会」を開催しました。

町内の6、7の福祉サービス事業所が町総合福祉センターへ一堂に会し、町内で就職したい方や福祉に興味のある方を対象に、職場の説明会を行いました。

今年度は、転職希望の方達のみで、雲石町民だけではなく盛岡市、滝沢市からも来場していただきました。面接では聞けないような給与や福利厚生、休日やシフトのことなど

ありがたい。「相談しづらいことも、参加者の方となら同じ目線で気兼ねなく話せる。」「年に2回、ほかの参加者の方とお会いすることが楽しみです。」「普段の励みになっている。」「などの声が上がっていました。参加者の皆さんは、昼食交流会のち、温泉と観劇で心身共にリフレッシュし、にこやかに帰路につかれました。



報

在宅介護者の集い

2月15日（金）、家庭で介護をされている方々を対象とした「在宅介護者の集い」が「ホテル森の風驚宿」にて開催されました。

今年度2回目となる「在宅介護者の集い」では、15名の方が参加され、日頃の悩みや体験談等を話し合いながら交流を深めました。

参加された方からは、「デイサービスなども利用してはいるけれど、その時間は仕事や家事があつて、ゆっくりと気が休まる時間は、意外ととれない。こういう機会がすごく

様々なことを採用担当者から個別に聞いていました。

参加された方からは「求人票に記載されていた時間とは違う、短時間就労でも大丈夫と言われたので、相談して良かった。」との感想もいただいています。

求職者、求人募集をしている事業所にとっては、事前にお互いの状況を知ることができる良い機会です。今年は、7月と12月に開催予定です。町内の福祉サービス事業所へ就職・転職を検討している方はぜひご参加ください。

報

誰もが支援者！『支え合いゲーム』で学ぶ

雲石町民生委員児童委員協議会

雲石町民生委員児童委員協議会では、年2回4地区に分かれ「地区民児協会議」を行っています。

一月に開催された地区民児協では、『お互いさまのまちづくりワークショップ』研修として、生活支援コーディネーターの進行のもと、『支え合いゲーム』を行いました。

このゲームは、カードに記載された人物になりきり、普段の暮らしで起こりそうな「困りごと」を解決してくれそうな人を探し、交渉成立を目指すというものです。

委員、お節焼きの住民等様々な役割が記載されており、自分と違う立場の人が『どのような困りごとを抱えるだろうか。』『この位ならお手伝いできるのではないかな。』など想像を巡らせるのですが、普段の活動で相手の立場を考え、地域にいろんな人が協力者になってくれるかを理解している民生委員児童委員だからこそ、その役割の強みを活かした解決をお互いに見出していました。

民生委員児童委員は、これからも地域の皆さま方のご理解とご協力を頂きながら、地域の相談役となり活動を展開してまいります。



報

明るく元気に過ごすために!!

町老連単位クラブリーダー研修会

平成31年3月13日（水）、町総合福祉センターにて、「平成30年度町老連単位クラブリーダー研修会」が開催されました。今年度は、一般社団法人岩手西北医師会、雲石町との共催で行われました。

当日は、町内老人クラブ会員76名が参加し、「こころの元気を保ちましょう」と題して、未来の風せいわ病院理事長の智田文徳氏に講話をいただきました。

雲石町は、全国の中でも自殺死亡率が非常に高く、問題となつていきます。自殺の原因として、多くの方がうつ病などの精神的な問題を抱えて

いたとされています。

日々の生活を健やかに過ごすために、ストレス危機を学び、自分自身のこころの健康保持について考える機会となりました。

研修会では、「相手の気持ちを知ること、それは難しいけれど、相手を分ろうとすることはできる。つまり、その人に心を傾けることはできるので、皆さんからは、「なるほど。確かにその通りだ。」との声が上がっていました。仲間同士で集まる事、生きがいを持つことの大切さを学んだ研修会となりました。



ボランティアを募集しています!!

屋食サービスボランティア

☆応募資格

- ・普通運転免許のある方
- ・元気で明るい方
- ・お年寄りとの会話が好きな方

☆募集人数

- ・若干名

☆活動時間

- ・平日、8時30分～12時30分

☆活動場所

- ・町総合福祉センター調理室
- ・町内利用者のお宅

☆活動日数

- ・週1～5日程度

☆年齢

- ・18歳以上

☆活動費

- ・1時間 762円

☆その他

- ・配達は社用車を使用します



子育て支援ボランティア

☆応募資格

- ・子育て経験のある方
- ・子育て家庭を応援したい方
- ・子供に興味・関心のある方
- ・空いている時間を地域の子供たちのためにお手伝いしても良いという方

☆募集人数

- ・若干名

☆活動時間

- ・ボランティアさんのご都合に合わせて活動していただきます

☆活動場所

- ・栗石町総合福祉センター
- ・ちびっ子ルーム「ぼけっと」

☆活動内容

- ・依頼のあったお子様の託児

☆活動費

- ・1時間 700円
- ・(夜間、早朝は金額が変わります)

※屋食サービスボランティア、子育て支援ボランティアについて、詳しくは、町社会福祉協議会までお問い合わせください。

新 家電バンクにご協力ください

「買い替え等で不要になった家電はありませんか？」

生活困窮者自立支援法が施行され、早5年となりました。家電が壊れても購入することが出来なかったり、諸事情があり家族から独立しなければならなかったりと、困窮内容は人それぞれですが、家電を購入することが出来ず、日常生活に苦慮する方がおります。

そこで皆様のお宅で、家電を買い替える際に、生活困窮者のために役立てても良いという家電がありま

したら、ぜひ社会福祉協議会へご一報願います。中古で構いませんが、作動する物をお願いします。大変申し訳ありませんが、壊れている物はお引き取りできません。皆様の善意のご協力をお願いいたします。

●募集中の家電

冷蔵庫・電子レンジ・温風ヒーター・扇風機・地デジ対応のテレビ・洗濯機など

社協行事予定

4月 24日(水) 総合相談所

5月 23日(水) 一人暮らし老人昼食会

6月 29日(水) 総合相談所

7月 27日(水) 総合相談所

7月 15日(金) めぐりあい事業

31日(水) 総合相談所 (お見合いパーティー)

*事情により、変更になることもあります。予めご了承ください。

やさしいまごころを
ありがとうございます

(平成30年12月から平成31年2月までの間に、寄せられた寄付についてお知らせいたします。)

寄付金

○中川愛子社中

代表 中川 愛子 様

100,000円

(町の福祉のために)

○曹洞宗盛岡一九会

30,062円

(町の福祉のために)

○石井 昭一朗 様

10,000円

(町の福祉のために)

○栗石町社協だより

発行/栗石町社会福祉協議会

TEL: 019-692-2230 FAX: 019-691-1140

e-mail: shizuku-shakyo@shisha.or.jp

ホームページ: http://www.shisha.or.jp

●平成31年(2019年)3月28日 第88号

〒020-0541 岩手県岩手郡栗石町千刈田82番地2